

しゃきよう

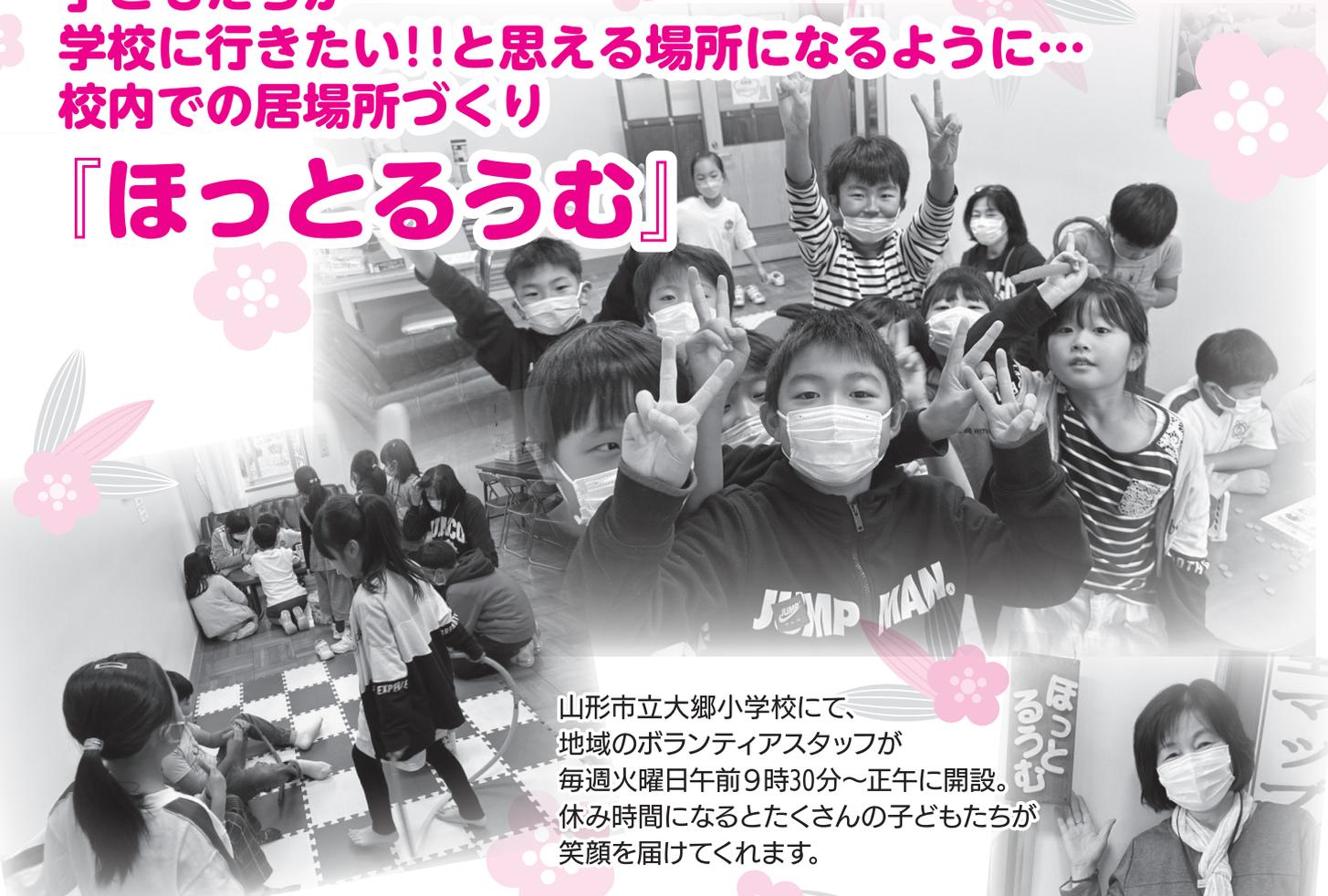
Vol. 175

しゃきよう

社協は社会福祉協議会の略称です。みなさん「しゃきよう」と呼んでください。社協はだれもが安心してくらせるまちづくりをすすめています。

子どもたちが
学校に行きたい!!と思える場所になるように…
校内での居場所づくり

『ほっとるうむ』



山形市立大郷小学校にて、地域のボランティアスタッフが毎週火曜日午前9時30分～正午に開設。休み時間になるとたくさんの子どもたちが笑顔を届けてくれます。

もくじ

- 新年のごあいさつ、社協ってなに?、第五次地域福祉活動計画について 23
- 生活支援コーディネーターが地域におじゃましま〜す!! (活動紹介) 45
- ボランティアセンター伝言板 6
- 赤い羽根共同募金について 7
- 暮らしの声、ちがうところはどこ?、プレゼントクイズ 8



誰もが安心して暮らせる福祉のまち やまがた
社会福祉法人
山形市社会福祉協議会

〒990-0832
山形市城西町二丁目2番22号
TEL 023-645-9230 FAX 023-645-8015

新年のごあいさつ

社会福祉法人
山形市社会福祉協議会

会長 渡部 正美

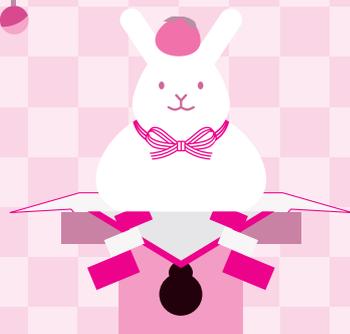
輝かしい新年を迎えられた市民の皆様には心からお慶び申し上げます。

本年が皆様にとって、健やかで穏やかな年となる事を心からお祈りいたします。

旧年中は、山形市社会福祉協議会の事業に温かいご理解とご協力を賜り、心から厚くお礼申し上げます。

今年も役員一丸となって、地域の皆様一人ひとりが役割を持ち、つながりあって活動ができるまちを目指し、地区社会福祉協議会の皆様など、多くの地域の方々とともに頑張っておりますので、皆様のなごご理解とご協力をお願い申し上げます。

謹賀
新年



2023

福祉とは



だんの



らしの



あわせ

みなさんが だんの生活の中で
しあわせだな〜 と感じるのは
どんな時ですか??

しあわせの感じ方は
みんなちがいます。
ひとりひとり ちがう人間なので
色んなしあわせの形があって
当たり前です。

山形市社会福祉協議会は民間の社会福祉活動を推進することを目的とした非営利の民間組織です。昭和26年（1951年）に制定された社会福祉事業法（現在の「社会福祉法」）に基づき、設置されています。高齢者や障がい者、児童はもちろん、「身近な地域の中で みんながつながるまち やまがた」を目指し、地域福祉活動を推進しています。

社協 なにして?



基本目標

身近な地域の中で
みんなが つながる まち やまがた

スローガン1

わたし・わたしたちは、
役割をもって活動します。

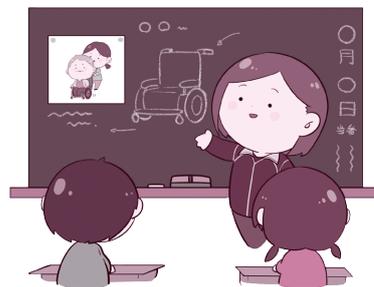
自分の町を自分たちでよくしていく仕組みをつくるためには、一人ひとりの力が必要です。自分の町でどのような活動をしているかを知り、ちょっとした地区活動へ参加してみませんか？



スローガン2

わたし・わたしたちは、
すべてがつながりあって活動します。

同じ地域に暮らす住民同士が日常的に関わりを持ち、顔と顔がつながること、たとえ認知症や障がいがあっても地域で安心して生活が送れるよう、支えあい、助けあうことが必要です。企業や施設、学校等、多機関で協力し合うことで地域の課題や問題に対し、解決に向けた取り組みを進めていきます。



スローガン3

わたし・わたしたちは、
まるごと一丸となって活動します。

ひとりではできないことも、みんなで協力すれば解決に結びつくという仕組みを作っていきます。



第五次地域福祉活動計画は
今年で3年目を迎えます!!

生活支援コーディネーターが地域におじゃまします!!

生活支援

コーディネーターは：

超高齢社会の中、誰もが住み慣れた地域で生活が続けられるよう、地域の困りごとや今ある助けあい活動、人材を把握し、地域の様々な機関と連携し、住民の皆様と共に支援体制を構築します。



第一地区

にぎやかな声ひびく。ほっとできる集いの場

山形市本町の旧山形市立第一小学校が令和4年9月1日にやまがたクリエイティブシティセンターQ1としてオープンしました。Q1は、改装前の「山形まなび館」の頃から第一地区住民の地域福祉活動や我が事・丸ごと地域づくり事業の拠点として利用されてきました。



ふれあい金曜市

改装期間中は中央公民館に拠点を移していましたが、9月から再びQ1に戻り、気持ちも新たに1F多目的ホールでいきいき百歳体操や子育ておしゃべりサロン、近隣町内のふれあいいきいきサロン等の活動を再開！また、毎週金曜日の午前中は、正面玄関前で、青果物や手作りのお菓子やパン、お花などが並ぶ、ふれあい金曜市も再開されました。

出羽地区

地域と企業と専門職で考える 高齢者の外出

高齢者の居場所「ひとあひ処合(通所型サービスB)」でタクシートの相乗りによる買い物支援を実施しています。この事業に関わる方々に集まっていただき、高齢者移動支援に関わる多職種連携ミーティング(以下、情報交換会)を行いました。

【参加者】

スーパー、金融機関、地域の福祉関係者、地域包括支援センター、おれんじサポートチーム、行政

情報交換会では、山形市と生活支援コーディネーターより高齢化の現状や、行政と地域がともに進める支えあいの仕組みについてお伝えし、参加者の皆様からも、各々の業務の中で高齢者に対応していることや、課題と感じていることなどをお話いただきました。「単純に交通インフラの解決についての話かと思いましたが、それだけではなく、生活インフラの解決、その先のご本人の生活そのものが豊かになることが目的だと感じました。」というお話も出され、改めて地域のあらゆる人々が合わさって、誰もが住みやすく、出かけやすい環境づくり、地域づくりを考えたいということが重要だということを確認できた良い機会となりました。



滝山
地区

オリジナルキャラクター

お滝さん誕生

地域の温かい目でこどもや高齢者を見守る仕組みづくりを進めています。既存の「こども110番連絡所」の拡充と新たに「高齢者みまもり連絡所」を立ち上げました。こども見守りの力モンくん、高齢者見守りのお滝さんを目印に、地域の皆様とともに誰もが安心して暮らし続けられる滝山地区を目指します。



村木沢
地区

祝10周年！中宿いきいきサロン

「人の悪口は言わない」をルールに、楽しく活動を行って10年。地域の皆様で地区の振興会役員さんとあじさい交流館の職員さんが共同して作成した写真をプロジェクトで渡し、当時の思い出話に花を咲かせました。地区内で祝い事があれば、地域全体でお祝いを行う、村木沢地区の人の温かみを感じます。



第八
地区

松原アパート

ふれあいサロンが はじまりました！

交流する機会が減ったことや、高齢者世帯の増加などがあり、住民同士が気軽に集まり、顔を合わせる機会があるとお互いに気にかけて合えるのではないかと、地区社協共催のもと自治会会長や役員の皆様が中心となり、松原アパート集会所で令和4年10月からサロンを開催しました。

サロン初日は19名の方が参加。運動普及推進員による運動や輪投げを楽しみました。

「次回もまた来たい」「こうした機会が身近にあるのはとてもいいですね」「これからも続けて欲しい」との声も多く、今後も月1回程度開催の予定です。

チラシは役員さんが手作りし、配布しています。サロンを通じた柔らかくなつながりが安心につながりますね。

スマホで便利に！

バス乗り講座

皆さんは、運転をやめたその時に「もうひとつの交通手段」をお持ちですか？

買物に病院、映画に温泉、日常生活や楽しみを継続することは、生活の豊かさにつながります。

そこで、もうひとつの交通手段が獲得できるよう、バスの乗り方について「講座編」「実践編」に分け実施しました。

「講座編」では、山交バス(株)様から、バス路線や車両の掲示の見方など、基本を教えていただいたあと、スマホアプリ「マイ」の方からスマートフォン(以下スマホ)を使った乗換えや経路の調べ方などを学びました。

「実践編」ではスマホでバス時刻や目的地と経路検索をし温泉街へ。山形蔵王温泉吉田屋様のご協力をいただきミニ二振り返り講座を開催。散策を楽しみながら、スマホ活用を実践する機会となりました。



実践編の様子

ボランティアセンター 伝言板

お問合せ・申込みはこちら↓↓

TEL 023-645-9233 FAX 023-645-8015

メール voravora@yamagatashishakyo.or.jp

地域のために頑張っています☆ 中高生による除雪ボランティア活動



今年度も中学生や高校生たちの除雪ボランティア活動がスタートしました。

地区社会福祉協議会や地区民生委員児童委員協議会の地域福祉の関係者がパイプ役になり、学校周辺の高齢者世帯や障がい者世帯の玄関から道路までの雪かきを行っています。毎年雪かきに訪ねたお宅からは「自分ではどうにもできない。助かりました。」と感謝の言葉が聞かれています。たくさんの中高生の活躍が、安心して暮らせる福祉のまちづくりの活力となっています。今年度も皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



お知らせ 「定年後も社会とつながる講座」

「定年退職後も豊かな生活を」

定年退職を控えた方、すでに退職している方など、地域活動への参加、ボランティア活動などの生涯現役社会に向けた講座を行います。

日時 令和5年2月20日(月)・27日(月) 午後2時～午後4時

会場 山形市総合福祉センター3階会議研修室1・2
(山形市城西町2-2-22)

内容 「世の中にない新しい仕事をつくる」
「あなたの希少性を育てる人生戦略」

講師 佐藤紀之氏

(山形市立図書館職員、元中学校長、よのなか科マスターティーチャー)

対象者 山形市在住の方。定年退職を控えた方、すでに退職している方、地域の支えあい活動に興味のある方。

定員 先着20名

受講料 無料

申込締切 令和5年1月31日(火)

助成金情報

令和5年度 ボランティア活動活性化事業

山形市内を中心に活動するボランティアグループや団体の活動の活性化を図ることを目的に助成します。

助成対象者 山形市内に活動拠点があり、山形市民を対象に継続的的事业を行うボランティア団体等

補助対象事業 ボランティア活動の活性化に関する事業(機材等備品購入も含む)

補助金額 1団体30,000円(7団体程度)

受付期間 令和5年3月10日(金)

申請について

申込書を記入し事務局へ郵送またはメール。申込書の様式はホームページからダウンロードできます。



南山形幼稚園・南山形すくすく保育園での受け取り式

赤い羽根共同募金へのご協力 ありがとうございます

昨年10月1日〜12月31日、全国一斉に共同募金運動が実施され、各学校や幼稚園・保育園、また企業等の職場でも募金のご協力をいただきました。

前回10月号の赤い羽根共同募金の記事に対し、多くの方から声が寄せられましたので、ご紹介します。

赤い羽根共同募金で町が良くなっている事が良く分かりました。

おたがいさまの気持ちが必要ですね。

(50代)

何気なく普段行っている赤い羽根共同募金の、具体的な使い道が知れて良かったです。

これからも引き続き募金を通じて協力したいと思います。

(30代)

この時期になると、小学校の頃、赤い羽根共同募金を街頭でしたことが思い出されます。

(50代)

学童保育所の備品などに使われていることを初めて知りました。未来ある子ども達のために使われていることを知り、この募金の大切さもわかりました。

(50代)

赤い羽根の募金報告を読んで、あらためて身近な所で役立っている事がわかりました。小さな力でも集まるとスゴイ!

(70代)



自分のささやかな募金が必要とされたところに適切に使われ、皆さんの喜びになって嬉しいことを知り嬉しかったです。

(80代)



寄付および賛助会員の募集

ご協力下さる方へ
恐れ入りますが、次の連絡先までご連絡ください。必要な手続きをお伝えします。

TEL 023-645-9230
FAX 023-645-8015

会費	
個人	三、〇〇〇円以上
団体	一〇、〇〇〇円以上
法人	一〇、〇〇〇円以上

住民参加のまちづくりを進めるため、ご支援のほどよろしくお願いたします。

やさしいきもちを

ありがとうございます寄附者紹介

みなさんからのご厚志に対して、心より厚く御礼申し上げます。ご寄附につきまして、令和4年9月1日から令和4年11月30日までの分を掲載いたします。
(敬称略・順不同)

- 山形市社会福祉基金
- 山形市善意銀行
- 現金預託
 - 佐藤農産(株)
 - 飯野建設(株)
 - 安食克彦
 - 匿名(3件)
- 物資・労力
 - (株)セパン・イレブン・ジャパン
 - 一般社団法人 日本造園建設業協会 山形県支部
 - 山形県遊技業協同組合
 - (株)グリーンシステム
 - (株)ニラク吉原店
- 日舞合同公演実行委員会
- 若柳一慶
- (株)メガネの相沢
- エスパル山形店
- 山形フィルハーモニー交響楽団
- 西下条町内会婦人部
- 山形県中部郵便局長会
- 山形第二部会
- 山形信用金庫
- 東北電化工業(株)
- (株)アイランド1 円劇場上山店
- 山形県農業協同組合
- 中央宮農センター
- 鉄砲町5区町内会
- 山形県中部郵便局長会
- 東洋羽毛北部販売(株)
- 高橋エヨ子
- 佐藤恒太郎
- 工藤浩一
- 工藤富
- 匿名(14件)

しゃきょうだより

市民の皆様から
いただいた声を、
ひとつひとつ大切に。

1月

たくさん感想をいただきました！
その一部をご紹介します！

- おたがいさまって素敵な言葉ですね。(40代)
- いつもおばあちゃんと見えています。ちがうところ探しが大好きです。募金もしています。(8才)
- 人と人の支えあいが必要な事を改めて知りました。(40代)
- 地元の紹介があり大変良かった。今後も地域の話をもっと載せてほしい。(60代)
- 子どもたちも福祉活動に参加している様子が素晴らしい。(50代)
- 山形市としての取り組みや活動を知り、助けあうことの大切さをいつも感じています。(70代)
- 人への優しさは自分の心をも浄化するものに思えます。(80代)

ちがうところはどこ？

上と下の絵で5コのちがうところをさがしてね！



- ちがうところはどこ？
10月号(vol.174)答え
- ①おじいさんのズボンの色
 - ②おばあさんの上着の色
 - ③ネコの色 ④男性の靴の色
 - ⑤女性のズボンの色

クイズに答えて Present プレゼント!

山形市総合福祉センター
「かすみが温泉」
利用券(4名分)
抽選で20名様

クイズ：本文中の を集めてならびかえとできあがる言葉は？



- 応募方法/クイズの答えと必要事項を記入し、ハガキまたはメールでご応募ください。当選は発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先/〒990-0832 山形市城西町二丁目 2-22 社会福祉法人 山形市社会福祉協議会あて



- メールアドレス voravora@yamagatashishakyo.or.jp
- 締切/令和5年1月31日(火)(当日消印有効)

- ①クイズの答え ②住所 ③氏名 ④年齢
⑤電話番号 ⑥「しゃきょうだより」の感想

10月号(Vol.174)クイズの答え 『おたがいさま』

[p.1]	[p.6]	[p.8]	[p.2]	[p.7]	[p.4]
お	た	ちがう	い	さ	ま

下の絵で5の募金券



社協(しゃきょう)は社会福祉協議会の略称です。この広報紙は赤い羽根共同募金の配分金で年4回、山形市社協から福祉情報をお届けしています。次回は4月号です。

愛ちゃんと希望くん。